

# 来週の「売り物」記事はこれ



2011年1月14日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 「消えないシックハウス」 くらしナビA面 17~19日

新築住宅や学校などで今も、頭痛や吐き気を催す「シックハウス」が起きています。こうした症状を起こす建材や塗料には規制がありますが、規制外の化学物質が使われ、原因が特定しにくくなっています。最近の事例をもとに、新たな対策を探ります。



## あなたの処方箋 慢性閉塞性肺疾患

くらしナビA面 17~21日



せきやたんが毎日のように続き、次第に呼吸機能が低下していくこの病は、認知が進まず、未治療の患者も少なくありません。日本人の死亡原因では10位ですが、将来は世界の死亡原因の3位になると予想されています。診断法や最新の治療法を紹介します。

## 余った調味料の活用法 くらしナビB面 18日

余った調味料を、冷蔵庫に入れっぱなしにしていますか。チリソース、とんかつソースなどの市販品を組み合わせ、新しい味を創作してみましょう。料理研究家の青木敦子さんが「タコのソース炒め」「チリソースのサラダ」を紹介し、コツを伝授します。



## スポーツ留学生 受難の時代か？

――企画「インサイド」次代の針路・第4部 18日から



駅伝、ラグビー、バスケットボールなど、高校・大学スポーツで留学生選手が活躍する姿は、すっかりおなじみのものになっています。しかし、高校駅伝で留学生選手の出場可能な区間が制限されるなど、活躍の場は狭められているのが現状です。また、長引く不況の影響で企業チームの選手採用が減っているため、一部のスポーツでは日本を目指す海外選手が減り始めてきました。受難の時代に入ったともみえるスポーツ留学生の実態を、運動面の大型企画「インサイド」で追います。18日から5回の予定です。

ザ・特集 キーマンに直撃！

菅首相のイメージ・チェンジ戦略

20日（木）

永田町ウォッチャーの間では、「最近、菅首相が変わった」と、もっばらの評判です。これまでの時折笑顔を浮かべるソフト路線から、強いリーダーシップのイメージを前面に打ち出そうとしているのか、努めて強面（こわもて）であろうとしているようです。そんな菅首相のイメチェンの指南役としてささやかれるのが、TBSキャスター出身のジャーナリストで、広報担当の内閣審議官に就任した下村健一氏＝写真。船出したばかりの第二次改造内閣でも引き続き、「総理の演出家」として腕を振るようです。下村氏を直撃するとともに、政権とジャーナリストの「距離」のありようについても考えました。



“知りたいが分かる、がモットーの「ザ・特集」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。